

ボードゲーム好きにおくるチョイ読みペーパー

2019.01
vol.04

TAKE FREE

メビテン!

mebiten.com

エッセンシュピール特集

- ◇ 初エッセンシュピールに行ってきました!
- ◇ エッセンへの道
- ◇ 第13回 カルカソンヌ世界大会
- ◇ Essenの街をもっと楽しもう!

高校生たちのボードゲーム選手権

あたちのコラムだYEAH!!!

初 エssenシュピールに行ってきました!

テンデイズゲームズのごみです。

今回はエッセンシュピールに初めて行った私が、エッセンシュピール初心者目線でお届けします。

「vol.1のアッキーさんの記事で読んだから知ってるよ」という方はふんふんと言いながら、何度も行っている方は初めての時の思い出しながらお付き合いください。

エッセンシュピールはドイツのエッセンで毎年開催される世界最大のボードゲーム見本市です。10月末に開催されるのですが、気候的には日本の真冬くらい、秋の装いで行くと後悔する事請け合

です。エッセンシュピールを楽しむために、寒さに震えたり風邪をひかないように十分に備えましょう。私はドイツの寒さを甘く見ていて、後悔したクチです。

エッセンシュピール会場に向かうのには、電車が便利です。ただし、要注意! 切符の買い方が日本とかなり違うので乗る路線、金額等確認して間違いないようにしましょう。

今年はエッセン中央駅の券売機前に英語でガイドが書かれていましたので、参考にして下さい(時間帯によってはガイドがない事もあるようです)。

さて、いよいよエッセンシュピール初日開幕です。



聞いてはいたものすごい人!

圧倒されてしまいます。セキュリティの人が秒単位で開場時間の管理をしていますので、彼らに従って開場の雰囲気を楽しみましょう。



広い会場を巡っていると、当然腹の虫がゴネ出します。そんな時は会場で売っているファストフードを楽しみましょう。このバーンクーヘンはふんわりしていてほんのり甘くて最高に美味しいです。エッセンシュピールに来たらぜひ!



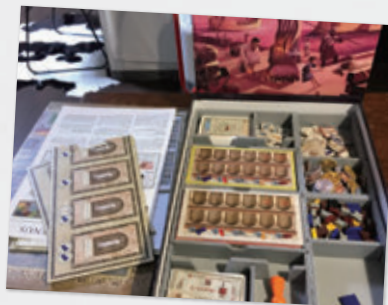
ゲームマーケットと比べると、この小さなお子さんが多い気がします。試遊卓で楽しそうに遊んでいる姿があちこちで見られました。



甘いもので腹が満たされるかよ! というあなたにはわりとヘビーなイモ系もオススメです。イモ1つくらいペロリだぜ、と思っていた私ですが、半分も食べきれずギブアップ。なかなかポリューミーで、6人で2本がちょうどいい感じでした。ちなみに私は女性としてはかなりの食いしん坊。それでもドイツが主食と誇るジャガイモには勝てませんでした。

お腹が満たされたら、お目当てのブースへ。

今回はコンコルディアヴィーナスがどうしても欲しくて、初エッセンシュピール記念に絶対に買いたいものでした。



難なくゲット!

近くのブースに売っていた、コンコルディア専用仕切りも勢いに乗って買ってしまった。

とてもスッキリ収まるので、繰り返し遊ぶ大好きなゲームにはとても便利かも!



各ブースを回っていると、見事なディスプレイに目が釘付けになりました。カッコいいディスプレイ、憧れてしまいます。目を惹く展示方法にたくさんの工夫が見られてとても刺激的でした。

一日中広い会場で過ごした後は

もちろん醸造所でカンパイ!



ドイツのビールは美味しいと聞いていたけど、それを遥かに上回る美味しさに、ビール派の私は大興奮。ウィンナーやムール貝との相性は言わずもがな。ただただ夢心地でした。

エッセンシュピール基本情報

●開催時期

2018年10月25日(木)~28日(日)

AM10:00 ~ PM7:00 最終日のみ AM10:00 ~ PM6:00

●開催場所/ドイツ西北部エッセン市

●主なアクセス方法

●日本(成田)

✈ 飛行機

●デュッセルドルフ空港

🚆 鉄道

●エッセン中央駅

🚇 地下鉄

●メッセエッセン

●公式のHP

www.spiel-messe.com



そして、中古屋さんもおもしろいものがたくさん!

主にアートワークが気に入った謎のゲームを2つ買いました。1つはドイツで古くから遊ばれているゲームで、色んな種類があるようです。エッセンシュピールに行くたびにコレクションして行くのもなかなか楽しいかもしれません。

エッセンシュピールという大きなお祭り、ドイツの食べ物を存分に楽しめたとともに思い出に残る旅になりました。来年は、大きめのトラムで、もっともっと楽しんじゃうぞ! と今から鼻息を荒くしております。

ドイツの人々は基本的にとてもおおらかで親切。フレンドリーな方々のお陰で、初ドイツの緊張感は徐々に薄れてゆきました。食べ物もおいしくて、街全体がレトロでありつつ清潔感に溢れています。

第二の故郷、と言うにはまだ一度しか行ったことがないので大げさではありますが、すると馴染める懐の深い国、というのが私の印象です。

ぜひみなさん、機会がありましたらエッセンシュピールを楽しみましょう!

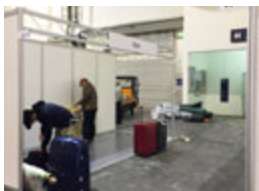
エッセンへの道 (itten 島本直尚)

昨年に続きエッセンシュピール2回目の出展となった itten の、ドタバタ1週間レポートをお届けします。

今回のエッセンは私たちにとって、TOKYO HIGHWAY 4人版 (Asmodee社出版) がリリースされること、新作をクラウドファンディングするためのPR、初お披露目となるタイトルの試遊と販売など、多くの目的を持っていました。おかげで渡航当日までタスクに追われ「早く何もしなくてよい機内で一息つきたいね」とメンバーで苦笑しあう始末。さあ、重い手荷物をひっさげて一路成田へ。

11.23(火)
準備
1日目

デュッセルドルフまでトランジット含めて約20時間。朝、空港に到着後、会場のMesseへ直行。昨年のように搬入口がわからず狼狽するなんてことはない。勝手知ったる顔で颯爽と搬入口を出展者バスも見せずに入っていく。(実は出展者バスを日本に忘れるというドジをふんでいた) 去年は僻地のような第8ホールだったが今年は第4ホール。格上げになったと思いきみ期待して歩く。だが自分たちのブースがなかなか見つからない。ついにどんつきを更に曲がったトイレ前に我がブースを確認。ここ？ ここなのか？ 前回は劣らない僻地感。計120kgの手荷物をかかえて遙々海を渡ってきたというのに？ 落ちかけた気持ちをとろつくくらい粛々と設営開始。頼んでおいた備品の不備があったがもはや動じることはない。なにせエッセンへの道のりはトラブルとの戦いであるのだからして。やがて商品がフォークリフトでやってくる。こんなに売れるのかね？ 頼んだ自らが呆れながらブースに積んでいく。それでも昨年、開催3日目まで商品が届かなかったトラブルを思うとオンタイムで搬入できているだけで上出来。



11.24(水)
準備
2日目

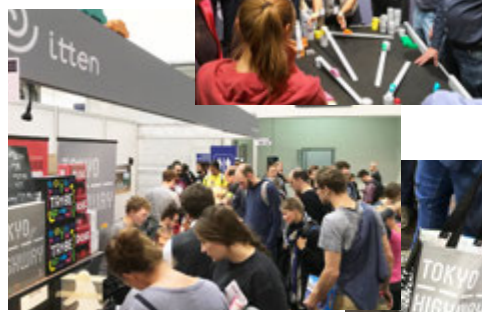
今回の宿泊はエッセン会場から電車で1時間ほど離れたRecklinghausenという街。この時期は民泊も予約しづらく遠距離となってしまった。しかし戸建が並ぶラグジュアリーな地域で部屋は申し分なく、朝はオーナーがベントで最寄駅まで送ってくれるので文句は言うまい。(本当は帰宅が面倒すぎて会場付近に宿泊している人たちをとても羨んだ) 午前中は地元のホームセンターで設営素材の買い出し。さすがにスケールが大きく幅4mの板材やカーペットがずらりと並ぶ。いっぽう数センチの木角材やガムテープなど些細なものが売っていない。ホームセンター好きのトミーは興味津々だ。IKEAにはしごしてから

会場入り。設営は順調に進んだものの、予定していたクラウドファンディングの申請がうまく行かず、延期の決断を協議しなければならなくなる。メインエントランスとなっている第3ホールに立ち寄るとTOKYO HIGHWAYのPRブースが立派に出来上がっていた。本タイトルリリースまでのこの1年間は長い道のりだったのでもっと感慨に耽ってもよかったが、その他のことで気持ちに余裕がない。



11.25(木)
イベント
初日

いよいよスタート。午前中はブース前の人通りが少なく不安を感じたが、次第に人が流れてきて試遊桌も埋まる。加えてトイレへの往来客が立ち寄ってくれる嬉しい誤算。今回はドイツ人のスタッフがいたので試遊のインストは安心だが、昨年の自ら伝えようと必死になった熱意が懐かしもある。午後からはネット番組への出演をはじめ、いくつかミーティングをこなした。会場ではAsmodee社が用意したTOKYO HIGHWAYのロゴ入りバッグを持ったお客をちらほら見かけるようになる。夜は日本からの参加者とドイツビールで乾杯。こういう時間もエッセンの大きな楽しみだ。情報交換もそこそこ何故かダジャレ大会で盛り上がったのは、海外で日本語の通じる楽しさゆえか。



11.26(金)
イベント
2日目

ミーティングやレジを交代でこなしながら、隙をみて会場を歩く。あいかわらず広い。4日間で18万人が来場するという巨大イベントだが、年齢層は広く、場内は和やかで楽しい雰囲気。会場総面積は昨年より広がったそうだが、小さなブースは減った印象。インディペンデントな面白そうな作品を探す楽しさは昨年のほうがあったかな、と個人的に感じた。国ごとに広い面積を確保してシェアするというスタイルも多くなっている模様。特に韓国エリアは広く目立っていた。今年に入って数度の海外出展もあり、声を掛け合う知り合いが増えてきたことが楽しい。この日もネット番組に出演。昨日とは別の司会女性のアクティブなノリに気押され、ゲーム実演中に自分たちでハイウェイを崩壊の危機に晒してしまう。このゲームってデクスタリティだったんだと改めて実感。



11.27(土)
イベント
3日目

朝・昼とパンばかりの生活も板についてきた。ドイツにはコンビニはないが、パン屋とキオスクはどこにでもある。会場の食事は高くつくのでハムやソーセージを挟んだパンを買い込んでおく。エッセンとは食事の意味を持つらしいが、この街のそれが特別なかどうかは良くわからない。もちろん毎食美味しくいただくが、ソースなど調味料の利用が少ないので次第に物足りなくなってくるのも正直なところ。体調維持のため日本から持ってきた栄養ドリンクをあおる。この日は週末のため家族連れが目立ち始める。ittenブースは連日たくさんの方が訪れてくれて、時間帯によっては場所の不利を感じさせない盛況ぶり。購入した際に感想を述べてくれたりサインを求めてくれる人々も多く、国籍も多様。このダイレクトな反応と多様性に触れられることがエッセンに来る一番の動



機だと思う。ルールさえわかっしまえば誰もが一緒に楽しめる素晴らしいゲームの世界。その面白さを共有できることの不思議を思う。同時に自らの英語能力の低さを嘆く。言葉が自由だと世界中のゲームをインストールしてもらえる素晴らしい機会が得られるのに。きつと帰国後は昨年同様、英会話教室への入会を検討していることだろう。



11.28(日)
イベント
最終日

朝起きると、腕時計がモバイル端末の時刻と1時間ずれている。サマータイムが終了したのだ。気温も急に下がってきて屋外は晩秋の気配漂う。日曜の午前中は教会に行くドイツ人が多く、午後から客足が増えるという情報を得ていたのでスロースタートの構えでのぞむ。終日、試遊と販売、場内散策を繰り返す。スタッフが好みに買ってくるものに加え、いただきものや交換したもので、相当数のゲームがレジ奥の空間を占めはじめる。夕方遅くなると、駆け込みでディスカウントをせがむお客や、ゲーム交換を提案しに来るデザイナーなどでドタバタ。準備のときは先が長いと思っていたけど、始まってしまえばあっという間。寂しさと安堵とが入り混じる終了時刻。4日間インストに立ち続けてくれたジュリアさん、ベルリンから駆けつけてくれたカレブとイーライのゲーマー兄弟(一昨年、彼らの東京旅行中にゲームを売ったことが縁で昨年から手伝ってくれている)ともハグの別れ。「とても楽しかったよ」と言ってくれて素直に嬉しい。「じゃあまた来年もね」と軽口をたたく。あとはittenのメンバーだけでブースを解体。荷物の運送に手間取ったせいで遅くなり、恒例といわれる「See you next year!」の別れの挨拶を誰と交わすことなく会場をあとにした。打ち上げに入ったステーキ屋では疲労の色も濃く皆言葉少なめ、しみいにはフォーク片手に居眠りのディナーとなったが、それぞれにやりきった実感を持って宿への帰途についたのだった。

翌朝、オビーがスマホ片手に言う。「来年のため、もっと会場に近い民泊をおさえましたよ。」なぬ？ まだ開催日決まっていなぬ？ しかし、エッセンへの道は1日にしてならず。OK。準備を始めようじゃないか。



左から、トミー・オビー・シマモト

第13回 カルカソヌ世界大会

優勝 / *congratulations* /
日本代表 藤本 徹朗さん

2018年10月27日(土) エッセンシュピールの3日目、会場内で開催されたカルカソヌ世界大会が開催されました。

この大会で見事日本代表の藤本徹朗さんが優勝されました。今大会は33か国34人の参加で行われ、予選5試合の結果8強が決勝トーナメントにコマを進めます。8強には昨年の覇者ポーランドのT.Preuss、5年連続ファイナルに進出しているギリシャのP.Litsardopoulos、このカルカソヌ世界大会に11年連続出場中で優勝経験もあるチェコのM.Mojzis、といった実力者が名を連ねる中、ファイナルに勝ち上がったのは日本とルーマニアになりました。



藤本さんの優勢を感じる試合運びの中で試合後半になり、この勝敗を決定付ける「道付き修道院」と呼ばれるタイルを藤本さんが引いた時には拍手が起こりました。結果99-55の圧勝で優勝を飾った藤本さんです。優勝〈日本〉藤本徹朗さん、準優勝〈ルーマニア〉M.Curcan、3位〈ドイツ〉K.Stratmann、4位〈ポーランド〉T.Preussとなりました。

日本は2014年に望月隆史さんが優勝、翌年に準優勝をしています。そして今回、藤本さんが優勝し、カルカソヌ世界大会での強豪国であることを世界に確実に印象付けました。

また、藤本さんの活躍により日本のランキングは7位から5位にアップしました。

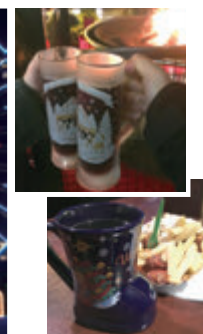
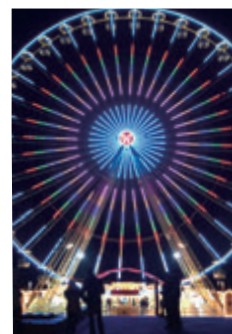
2019年はデフェンディングチャンピオンとして藤本さんは出場されます。そして日本代表として世界大会に出場をするのは誰になるのでしょうか？2019年のカルカソヌ日本選手権[7月27日(土) すみだ産業会館(東京都墨田区・錦糸町駅前)]がますます楽しみにになりました。



ホテルの部屋でフェダーヴァイサーパーティー！

フェダーヴァイサー (Federweißer) とはドイツでこの時期にしか飲むことのできない発酵途中のワインです。炭酸がぶくぶくと吹き出すため、蓋は軽く閉めてあったり穴が空いていたりするだけ。横倒しになって中身が吹き出さないように慎重に運びましょう。

甘くて軽い味わいなので飲み過ぎ注意です。スーパーマーケットでおつまみと一緒に購入して、気の合う仲間とゲームの話で盛り上げれば、レストランでの食事とはひと味違う思い出となりますよ。



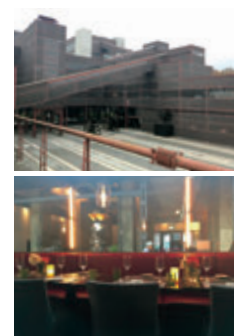
エッセン ライトフェスティバル

エッセン中央駅では10月下旬から11月中旬までライトフェスティバルが開催されます。この後に開催されるクリスマスマーケットの雰囲気或少しだけ味わうことができます。世界最大級の移動式観覧車は、日本の観覧車と比べてかなりスピード感あり！屋台で売られているグリューヴァイン (ホットワイン) にはカップのデポジットが含まれていて、カップは持ち帰ることができます。屋台ごとにデザインが違うので、気に入ったカップを自分へのお土産にしてみてください。

世界で最も美しい炭鉱遺産！？



観光をするなら工業都市エッセンならではの世界遺産『ツォルフェアアイン炭鉱業遺産群』がおすすめ。炭鉱の遺産？なんだか地味な感じ…。そんなことはありません！バウハウス様式を取り入れた巨大な建物群はどちらを向いても写真映え必至。敷地は広大で、地元の人がジョギングや犬の散歩コースとして利用しています。レストランやミュージアムもあり、ゆったりとした時間を過ごせます。

www.zollverein.de



高校生たちのボードゲーム選手権

2018年11月3日、東京都高等学校ボードゲーム連盟主催による第1回東京都高等学校ボードゲーム選手権が、武蔵高等学校で開催されました。参加校5校、各校2チーム編成で約50名の参加者が集い、モノポリー、カタン、カルカソニヤの3種類のゲームが競われました。

 **総合優勝 中央大学杉並高校Aチーム**  **準優勝 武蔵高等学校Bチーム**

主催連盟は、ボードゲームによる論理的思考の養成や、負けを受け入れる寛容さと忍耐など教育的な側面に視点を当て、高校生の健全な育成を資する目的で今年6月に設立発足した、新しい高校生のための団体です。今後加盟校が増え、高校生のボードゲームへの注目度が高まり、またその保護者の方々からの関心度と理解度が深まることを願っています。

中央大学杉並高等学校 思考ゲーム研究会

記念すべき第1回となる選手権大会に出場し、選手宣誓も行うことができ、私は誇らし気持ちで参加できました。私は、カルカソニヤの部に出場しました。予選は午前中に2試合午後には2試合、決勝トーナメントは4チーム1ブロックの2試合と、1日でこなすには少々ハードに感じました。試合終了後の感想戦で、お互いのプレイミスを指摘でき、互いに有意義な時間が過ごせたと思います。



朋優学院高等学校 ボードゲーム同好会

初めて大会に出場させてもらい、とても勉強になりました。とくに、初めて会う人たちと真剣にプレイすることで、色々な参考になるプレイを体験できてよかったです。

ボードゲームを通して、他校の生徒とコミュニケーションを取ることができ、改めてボードゲームのすばらしさに気づくことができました。

今後もボードゲームを楽しみ、極めていきたいと思っています。

日本学園中学校・高等学校 モノポリー同好会

私は大会に出場して二つ感じたことがありました。

一つは他の学校の生徒と関わることができました。ゲーム中は学校の隔りもなく楽しく会話をすることができました。

もう一つはゲームを通じて様々な考えがあり、様々な面から物事を考えられるようになったことです。

この行事で学んだこと日々の活動に役立てていきたいと思っています。

武蔵高等学校中学校 卓上遊戯研究(総合講座)

今回の東京都高等学校ボードゲーム選手権大会は、他校との交流のできるよい機会だった。現在数少ないボードゲームの団体戦で、チーム全員が自分の好きな種目での実力や、チームのために戦うということを知ることができた。共通の趣味をもつ仲間もでき、素晴らしい経験のできる大会となった。

堀越高等学校 非電源ゲームゼミ

私はボードゲームを始めたことで、コミュニケーションも増え、会話が盛り上がるようになりました。大会ではモノポリーに参加するため、出場するメンバーと一緒に練習をしてルールを覚えていきました。当日はビリにはならず無事大会を終えることができました。

大会ではゲームを始めた頃よりうまく会話できており、私の今後生きる経験ができたと感じました。

Möbius メビウスゲームズ おすすめゲーム

テーマ: すごろくはボードゲームの基本

チャオチャオ

 2-4人  30分  8歳~  2,400円(税込)

デザイナー: Alex Randolph メーカー: Drei Hasen

奇妙な植物が生い茂る不思議なジャングルの奥深くで、探検家たちは沼にかけられた吊り橋を渡ろうとしています。探検家たちはサイコロの出た目の数だけ進むことにしました。そのサイコロの目は自分だけが見ることができるので、ほかの探検家にばれなければ嘘を言って前に進んでも大丈夫! でも、その嘘がばれたしまったら嘘をついた探検家は沼に落とされてしまいます。その時他の探検家たちは「チャオチャオ」と言って見送ってあげましょうね。ほかの探検家の嘘を見破り、自分はばれない嘘をつきながら吊り橋を渡ることを目指しましょう。チャオチャオはイタリア語のバイバイなのよ!



Q-JET (キュージェット)

 2-6人  40分  10歳~  3,800円(税込)

デザイナー: W. Riedesser メーカー: メビウスゲームズ

超高速で疾走可能なハイパーマシンを、アクセルカードを使って、いかに効率よく進めるかを競う、レース系すごろくです。専用サーキット(すごろくボード)を速く3周した人が勝ちですが、なかなか思うようにはいきません。分離帯のある場所では車線変更ができず、他車を追い抜くことができなかったり、レース中にはエネルギーチャージのビットインしなくてはなりません。その車線選びなど考えどころ満載なすごろくです。



ウミガメの島

 2-7人  30分  7歳~  2,800円(税込)

デザイナー: Alex Randolph メーカー: franjos

ウミガメたちが卵を産むためにウミガメの島に集まってきました。島の周りをまわりながら21の産卵の浜に到着もしくは通過するとウミガメの卵カードを獲得できます。たくさんの卵を獲得した人が勝ちです。すごろくをベースにしたゲームですがその時その時の状況を見極めて最善の決断をする戦略が盛り込まれています。運と思考のバランスが絶妙なゲームです。ウミガメが積み木のように重ねあえるのもこのゲームならではの楽しさです。





テンデイズゲームズ おすすめゲーム

テンデイズゲームズ木製コイン100枚セット

人 1 時間 1,800円(税込)

メーカー：テンデイズゲームズ

さまざまなゲームに使いやすい、汎用の木製コインです。1、5、10、25、50、100のコインが合計100枚、使いやすい組み合わせで入っています。「ポーカーチップは重いのがちょっと……」、「おもちゃのチップは額面が書かれていなくてわかりにくいよね」という方にぴったりの軽さと使いやすさ。トランプゲームの得点計算やゲーム内のお金の代わりなど、使い方はあなた次第。(木製のため一枚ごとの成形の差異や印刷のズレはご容赦ください)



ミューラ

人 3 人 時間 30分 10歳~ 1,944円(税込)

デザイナー：坂口勝彦

メーカー：テンデイズゲームズ

30年程前に発売された伝説の国産ゲームが、古くて新しい独特なカードデザインで復活しました！他のプレイヤーより強い組み合わせを出し、強さ比べを繰り返し、高得点を狙います。カードの強さはもちろん大事ですが、それ以上に大事なものは勝負所の見極めと押し引きです。勝負所を見極めて、押せる時は一気に押していきましょう。流れを上手く読むことが出来れば、弱いカードで大きく勝てることも！？ テンポの良さがクセになる、色あせない面白さを持った、誰もが楽しめるおすすめのゲームです。



あだちのコラムだ Y E A H !!!

アナログゲームマスターのあだち先生です。

皆さんは、アナログゲームにときめく瞬間ってありますか？
目の前がキラキラ輝いて、ウキウキする気持ち。あれです！

たとえば…

知らないゲームを紹介してもらう瞬間？ 買ったばかりのゲームを開封する瞬間？
自分が紹介したゲームがみんなにハマった瞬間？ ジャケ買いしたのに超面白かった瞬間？ などなど。
思わず「うわぁー!!!」って声に出してしまうこの気持ち！ゲーム好きな皆さんなら、きっとありますよね？

あだち先生にもあります！

すばり『ドミノオン』でいいカードが手札にきた瞬間は、手札がキラキラ輝いて見えます！
(いや、みんなもそうかな。笑)

でも結局、みんなでゲームを遊んでる間は、ずっとときめいてるよね！
ずっとゲームで遊んでいれば、ずっとキラキラ輝いていられる！
イエーイ!!!

ちなみにうちのミニアナログゲームマスター(長男2歳)は
私が知らぬ間に『ニムト』と『The GAME』を棚からひっぱり出し、
カードを完全に混ぜ合わせる瞬間が1番ときめいているようです。
そして、その時あだち先生は泣いています。



page03

itten games

一点を競うゲームを通じて、その場の状況が一転する
ような楽しい体験を。www.itten-games.com

page10

あだち先生(あだち ちひろ)

株式会社あだちのYEAH

代表取締役 / アナログゲームマスター

2歳男児の母。仕事のご依頼を受けると

ド派手なピンクの衣装に身を包みアナログゲームマス
ター「あだち先生」に变身！ www.adachi-yeah.in



編集後記

vol.1のエッセンスジューブルの記事から、あつと言う間に1周年となりました。これからも楽しくゆる〜くボードゲームのことをお届けしますので、今後とも「メビテン!」をよろしくお願いいたします。
次号は春の予定です。お楽しみに！

<http://mebitem.com>

✉ mebitengames@gmail.com

Twitter @mebitengames

「メビテン!」を置いていただけるお店を募集しています。

編集:メビウスゲームズ、テンデイズゲームズ、長塚美奈子
本書の無断転載・複写ご遠慮ください。